

つたざわ



〈学校教育目標〉

こころ豊かで
主体的に学び、
ともに高め合う
蔦沢っ子の育成

地域とともに蔦沢の秋

教頭

朝夕の空気に少しずつ秋の深まりを感じる季節となりました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、ますますご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

去る十月一日、本校では蔦沢地区老人クラブ、宇野

営農組合の皆様にお世話になり、全校児童で稲刈りを行いました。当初は、九月二十九日に予定していましたが、雨のため延期となりました。雨の影響があり当日の稲の状態で、稲刈りが出来るかどうかと心配していましたが、黄金色に実った稲を前に、子どもたちは元気がいい稲刈りを行うことができました。一人一人が鎌を手に持ち、使い方や稲の刈り方を教えていただきました。初めは鎌の扱いに戸惑っていた子どもたちも、教えていただきながら何度も稲を刈るうちに次第に手際よく作業を進めることが出来るようになりました。「昔は家でも稲刈りをしていて」「稲は根元をそろえて置くといい」と声をかけていただきながら、一緒に汗を流しました。今では農業の機械化が進み、家庭で鎌を使って稲刈りをする機会は、少なくなりました。だからこそ、今回の体験は、子どもたちにとって貴重なものだったと思います。「米作り」については、社会科の学習でもとりあげます。教科書を通して知識を身に付けることはもちろん大切です。しかし、実際に田んぼに入り、土に触れ、稲を手に持ち、鎌で刈る。そして、地域の方と一緒に汗を流す。こうした「本物に触れる体験」には、教室で学ぶだけでは得られない学びがあります。子どもたちは、今回の体験を通して、米が食卓に届くまでには多くの人の努力があることを実感したことでしょう。そして何より、一緒に稲を刈ってくださった地域の方との時間そのものが子どもたちの心に残ったことと思います。何年か先、大人になった子どもたちが田んぼを見たとき「小学校の時、地域の

方と一緒に稲刈りをしたな」と思い出すことがあるかもしれません。あるいは、蔦沢から離れて暮らすことになったとしても、秋の田んぼの風景を見て、蔦沢で過ごした日々を思い出すことがあるかもしれません。私は、こうした一つ一つの体験が子どもたちの人生を彩る思い出となり、やがて「ふるさとを大切に思う気持ち」に繋がっていくのだと思います。老人クラブや宇野営農組合の皆様、本当にありがとうございました。

さて、十月の終わりには、運動会を予定しています。現在、子どもたちは、運動会に向けて練習に取り組んでいます。練習の中では思うようにできないことや友達と気持ちを合わせることが難しい場面があります。それら一つ一つの課題に向き合い、友達と励まし合いながら練習する中で子どもたちは確実に成長していきます。運動会には、競技の勝ち負けがあります。しかし、それだけが運動会の価値ではありません。「昨日までできなかったことが出来るようになる。友達と声を掛け合えるようになる。自分の役割に責任をもって取り組めるようになる。最後まであきらめずに頑張れるようになる。」こうした一つ一つの「成長」こそが子どもたちにとって大切な財産になるのだと思います。結果だけを見れば、一番になれる人は一人かもしれません。しかし、自分自身の成長という視点で見れば、全ての子どもたちに「昨日の自分を超越する」というチャンスがあります。運動会当日、子どもたちにはこれまで積み重ねてきた練習を自信に変え、仲間と力を合わせて、精一杯の力を発揮してほしいと願っています。

そして、昨年に引き続き今年も地域の皆様に参加していただく「綱引き」を予定しています。子どもたちだけでなく、地域の皆様にも一緒に運動会を盛り上げていただければと思います。地域の皆様の声援や温かな拍手は、子どもたちにとって何よりの励みになります。ぜひ運動会当日は学校へ足を運んでいただき、子どもたちの頑張る姿をご覧ください。そして子どもたちと一緒に地域の皆様にも運動会を楽しんでいた

できれば幸いです。

稲刈りも運動会も学校だけでは成り立ちません。地域の皆様との出会いや交流があるからこそ子どもたちは豊かな体験を重ねることが出来ます。

「地域に見守られ、地域に学び、地域とともに育つ」

これからも本校では、地域の皆様とのつながりを大切にしながら、子どもたちが「本物」に触れ、心を動かされ、学びを深める機会を大切にしていきたいと思ひます。そして、今日の体験が子どもたちの心の中にいつまでも残る「ふるさとの思い出」となり、いつの日か「この地域で育ってよかった」と思える心につながっていくことを願っています。

今後とも、地域の皆様の温かなご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

未来へ紡ぐ研修部活動

研修部長

日頃より、本校のPTA活動および研修部の運営に、保護者の皆様、そして先生方から温かいご理解と多大なるご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

今年度、研修部では会員の皆様の交流と子どもたちの笑顔につながる行事を企画してまいりました。その中心的な活動として、これまでに「教育講演会」と「親子映画会」を開催いたしました。

まず、教育講演会では「スマホ時代の子育て」

をテーマに開催いたしました。デジタル機器が身近にある現代において、子どもとの付き合い方やルールの作り方は、多くの保護者が直面する切実な悩みです。講演では、家庭での具体的な声かけや見守りのポイントなど、今日から実践できるヒントをたくさん伺うことが出来ました。参加された皆様が熱心に耳を傾けておられる姿が印象的で、同じ学校に通う親同士が共通の課題について共に学び、不安を共有し合える大変有意義な時間となりました。

また、もう一つの行事として開催した「親子映画会」では、体育館の大きなスクリーンに『私ときどきレッツサーパンド』を上映いたしました。当日は多くの親子連れの皆様に足を運んでいただき、会場は終始、温かい熱気に包まれました。子どもたちの心に温かい思い出として深く刻まれたことと思ひます。

親が生き生きと学ぶ「教育講演会」、そして親子で心を通わせる「親子映画会」。これらの活動を通じて、私たち大人が成長し、子どもと感動を分かち合う大切さを実感いたしました。

私の任期はまだ続きますが、これからも皆様にとって有意義で、何より楽しく参加できる研修活動を目指し、部員一同励んでまいります。行事を支えてくださる先生方、そして会員の皆様、今後とも変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

10月の行事予定

- 16日(金) 放課後チャレンジ塾
- 21日(水) 運動会予行演習
- 23日(金) SC来校
- 24日(土) 秋季大運動会
- 26日(月) 振替休業日
- 27日(火) クラブ活動
- 30日(金) 放課後チャレンジ塾



11月の行事予定

- 3日(火) 文化の日
- 4日(水) 歯科教室(2・5年)お楽しみ読書
- 6日(金) 1・2年生見学旅行、PTA 理事会
放課後チャレンジ塾、SC来校
- 7日(土) 伊沢の里文化祭(～8日)
- 10日(火) 委員会活動
- 12日(木) オープンスクール(5・6校時)
- 13日(金) オープンスクール(3・4校時)
放課後チャレンジ塾
- 17日(火) クラブ活動
- 18日(水) お楽しみ読書
- 20日(金) 放課後チャレンジ塾
- 23日(月) 勤労感謝の日・PTA バレーボール大会
- 25日(水) 学習発表会リハーサル
- 27日(金) SC来校
- 28日(土) 学習発表会
- 30日(月) 振替休業日



『いないねこ』を読んで

三年

「ぼくは、世界一しあわせなぬいぐるみの一ぴきです。」と書かれていました。読んでいくうちにニャンコがしあわせな理由が分かりました。

わたしは、友だちが困っているときはすぐに助けてあげたり声をかけたりしています。反対に、わたしが困っているときは、友だちに助けてもらえたらうれしいので、ニャンコもきつと友だちに助けられてうれしかったと思います。

「わたし、いらな子だったんでしょ。」誰もいらな
いから、捨てられた話をしているのを聞いた。子ね。こ
とても悲しかったらうなと思いました。

ニヤンコが泣いているのを、友だちがなぐさめてくれました。つらいときになぐさめてくれる友だちがいるニヤンコは、世界一しあわせなぬいぐるみなのだと分かりました。

わたしが、友だちのことを思ったり友だ

ちがわたしのことを思ってくれたりするの、やさしい心があるからだと思います。やさしい心をずっともっていたです。



『キミの一步アフリカ
ゾウを食べるにはひと口ずつ』

『キミの一步』を読んで

六年

私がこの本を読んだ理由は三つあります。

一つ目は、本の題名や表紙の絵にチェスのコマが光っているようにえがかれていて、こういうことなのだろうと気になったからです。

三つ目は、「ソウを食べるには一口ずつ」という言葉です。どんな意味なのか気になって読んでみると、「どんなに困難に見えることでも、小さなことから始めれば終わりがくる」というアフリカのことわざで、いいことわざだなと思いました。

この本はアフリカの貧しい子どもたちがチエスやボウリング、折り紙などに夢を持って生き、環境問題などに追われながら過ごしている人々の様子がえがかれている本です。

私が一番心にのこったのはナイロビのごみをそうじする人々の一人、ジャダさんです。ジャダさんが環境問題に真剣に取り組むようになったのは七歳の時だそうです。そんなに小さな時から環境問題があることを知っていて取り組もうとしているのはすごいと思いました。大人たちがよごしているのに、子どもがそうじをしているというのも、なんだか変だなと感じました。七歳といったら小学一年生から二年生ぐらいです。そんな時から環境のために戦う人になりたいと思っていて、私が一年生や二年生の頃はそんなこと気にもしていません。なかつたんじゃないかなと思います。ジャダさんにはパイロットになるという将来の夢もあるそうです。しかもただのパイロットではなく、環境に優しいバイオ燃料を使った航空機のパイロットだそうです。もうそんなことまで考えているのだなあと思いました。私はその夢を応援したいです。

私がこの本を読んでわかったことは、貧しい子どもたちがいること、安心して外で遊べない地域があること、じゅうぶんにご飯を食べられずに、夜お腹を空かせたまま寝る子どもたちがいること、学校にも行けない子ども

この本で私が変わったことは、貧しい人のことも考えて生きようということです。世界には自分たちが当たり前にしていることが出来ない子や自分より小さな子が環境のことを考えながら過ごしていたりしているのを知りました。これから私も少しずつでも自分にできることをしていきたいと思いました。

開催についてのご案内



「第五回 蔦沢小学校秋季大運動会」を左記のとおり開催しますので、ぜひご観覧いただきますようご案内申し上げます。

記

一日時 令和八年十月二十四日(土)

午前八時四十五分開会

※十二時頃閉会予定 雨天順延

二場 所 蔦沢小学校運動場

三 駐車場 薦沢小学校体育館周辺、宇野公民館前

旧伊水幼稚園園庭・幼稚園前農道

四 その他

・プログラムは当日配布します。

・観客席でのテント設営は予定しておりません。

・なるべく乗り合わせの上、ご来場ください。

・地域の方のご観覧も歓迎します。